

創立昭和28年1月8日



TANABE ROTARY



この中の中を見つめよう 博愛を広げるために District 2640 田辺ロータリークラブ Club Weekly Bulletin

2011-12年度
国際ロータリーテーマ

「この中の中を見つめよう
博愛を広げるために」
-Reach within to Embrace
Humanity-
カルヤン・パネルジー
RI会長
大澤徳平ガバナー

4つのテスト (FOUR WAY TEST)

- 言行はこれに照らしてから
- (1) 真実かどうか
- (2) みんなに公平か
- (3) 好意と友情を深めるか
- (4) みんなのためになるかどうか

例会日 木曜日 12:30
例会場 紀伊田辺シティプラザホテル
会長 伊賀久記
幹事 福本雅彦
会報委員長 柏木 壽夫
http://tanabe-rc.com/

承認 昭和28年3月2日
事務所 〒646-0031
田辺市湊1073-63
TEL 0739-24-2002
FAX 0739-26-0264
mail tanabe-rc@helen.ocn.ne.jp



「我が家の3月大根」撮影 渡部正義員

●司会者
伊賀久記会長

●ソング
手に手つないで

●ゲスト

●ビジター

本日のプログラム 3/15

アーティスト
ジョージ☆池添 様

次回のプログラム 3/22

白井 慶 様

出席報告

	第2909回	第2910回	第2911回
会員数	84名	84名	84名
出席規定免除会員数	10名	10名	10名
出席計算会員数	82名	82名	82名
出席者	63名	69名	68名
出席率	78.75%	84.15%	82.93%
メイクアップ	7名	6名	
修正出席率	85.37%	91.46%	

メイクアップ

3月6日 串上(田辺はまゆうRC)

お祝い

会員誕生日 瀬戸
配偶者誕生日 大川ゆり(敏彦) 冢瀬みゆき(義文)
結婚記念日 田中
皆出席 木村頼(19年)
在籍表彰 木村頼(20年)

ニコニコ箱

☆松田さん、卓話楽しみにしています。…………伊賀、中松、新井、福本雅、濱口、植田英、田中、山本、稲田静、玉井、横田、新藤、瀬戸、柏木、竹内、大崎
☆松田さん、卓話頑張って下さい！楽しみにしております。…………都志見
☆松田さん、新人卓話楽しみにしています。頑張って下さい。…………池永
☆米山功労者第4回マルチプル頂きました。……植田英
☆ロータリーゴルフ優勝しました。…………津村
☆孫が大学合格しました。…………畑地
☆ちょっとうれしい事ありました。…………柴田
☆今日は朝から仕事で大失敗しました。反省してしばらく家にこもります。…………福本雅

お知らせ

会長報告

- ・本日、第9回定例理事会を行いました。ガバナー補佐の件、第3回クラブ協議会の件、本宮プロバス2周年記念大会の件、龍神プロバス創立6周年記念総会の件、和歌山RC75周年の件、識字率向上運動協賛の件が承認されました。
- ・2012-2013年度RI第2640地区第1組ガバナー補佐を廣本喜亮会員に受けて頂く事になりました。クラブ丸となって協力していきたいと思えます。
- ・植田英明会員が第4回マルチプル米山功労者になりました。米山記念奨学会より感謝状が届いていますので、お渡しします

幹事報告

- ・第3回クラブ協議会を4月5日例会終了後行います。委員会事業中間報告です。役員・各委員長の方は出席よろしくお願ひします。
- ・近隣クラブ会報が届いていますので回覧します。

委員会報告

雑誌委員会

阪本哲次委員長

- ・ロータリーの友3月号の紹介。

ロータリーゴルフ3月例会成績

3月4日(参加20名) 白浜ビーチGC

順位	氏名	グロス	ハンディ	ネット
優勝	津村 寛司	91	17	74
2位	浦出 憲	94	20	74
3位	市木栄之助	87	10	77

※ニアピン賞 No.10-野村富 No.14-松田、坪井
※次回は4月22日(日) スタートAM9時31分白浜ゴルフ倶楽部



新会員卓話

『巨大災害に備える
～地震保険の活用について～』

松田清 会員

昨年9月に田辺ロータリークラブに入会して早いもので丸6ヶ月が経ちました。最初はロータリークラブのことは何も知らなかったので少し戸惑いがありましたが、皆様に温かく迎えていただきまして今では楽しく例会や各種活動に参加をさせていただいております。改めまして厚くお礼申し上げます。

本日は巨大地震に備えるということで地震保険についてお話させていただきます。

1. 昨今の自然災害と支払額

昨年から巨大な災害が数多く発生しています。

主なもので

- 2011年3月 東日本大震災
- 2011年9月 台風12号（主に関西地方）
- 2011年9月 台風15号（主に関東地方）
- 2011年10月 タイの洪水被害

などが挙げられますが、もうすぐ発生から1年になる東日本大震災では、家計地震保険での保険金支払額が震災発生から約1年間で1兆2,000億円に達しました。家計地震保険は政府と民間損保が共同で運営している保険で1回の地震で支払われる保険金の上限は5.5兆円と決められています。また、民間損保が独自に引受を行っている企業向けの地震保険では全社で約6,000億円の支払をしています。そして紀南地区を襲った台風12号で支払った保険金は331億円（過去17番目）、また関東地方を襲った台風15号では888億円（過去10番目）にのぼり、損害率高騰の要因となりました。中でも損害保険会社にとって予期していなかった多額の支払となったのはタイの洪水被害です。損保全社で約9,000億円規模となる見通しで、長期にわたる洪水で工場の復旧費や休業中の損失の補償が増え、昨年秋に各社が試算した数値の2倍に膨らんでいます。最終的な被害額は今なお確定しておらず、保険金支払いがさらに増える可能性があると言われています。自然は人知の及ぶところではないということ昨今の巨大災害の発生で思い知らされる結果となりましたが、もはや人間は自然災害の発生をコントロールすることはできないので備えを十分にすることが重要です。そういう意味では保険に加入することは失った経済的損失をカバーするうえでかなり有効な手段と言えます。

2. 東海地震と東南海・南海地震の関係

東南海・南海地震は過去90年から150年周期で繰り返し発生しており、今後30年以内の発生確率は東南海地震「70%」、南海地震「60%」である。

また、東海地震は1854年以降、157年間発生しておらず、今後30年以内の発生確率は「88%（参考値）」と、いつ発生してもおかしくない状況にあります。

さらに、東海・東南海・南海地震はこれまで、同時または連動して発生していることから、次の東海地震は東南海・南海地震と同時に発生する恐れがあるとも言われています。

3. 和歌山県の地震保険加入状況

和歌山県を3つのエリアに分けて地震保険の加入率を調べてみると和歌山エリアが推定世帯加入率24.4%、田辺エリアが25.3%、新宮エリアが31.6%となっています。推定世帯加入率とは地震保険加入世帯を全世帯数で割った指標です。新宮エリアがもっとも高い数値を出しており、理由はわかりませんが地震に対する意識が強いことを表しているのではないかと思います。また、火災保険加入件数のうち地震保険に加入している契約の割合は和歌山エリアで64.5%、田辺エリアで61.7%、新宮エリアで77.0%となっていて、こちらの指標についても新宮エリアで高い数値が出ております。

4. 地震保険の保険金支払方法

地震保険は地震・噴火またはこれらによる津波を直接・間接の原因とする火災・損壊・流出によって、保険の対象である建物または家財に生じた損害が全損・半損・一部損となったときに保険金をお支払します。認定される損害の程度は建物の場合、全損で時価の50%以上、半損で時価の20%以上50%未満、一部損で時価の3%以上20%未満の損害となっています。またお支払するには全件、鑑定人と呼ばれる専門の知識をもった調査員の立会いが必要となります。しかし、東日本大震災のときは広域にわたる大規模災害だったので、例外的に社員の立会い、お客様からの申告、航空写真による全損一括認定などの手法をとって迅速に保険金を支払うことを優先させました。建物よりも家財のほうが、損害が出る確率が比較的高いので、建物の地震保険だけでなく、家財の地震保険にも合わせてご加入されることをおすすめします。

5. 紀南復興支援活動について

紀南地区を襲った台風12号の水災の影響で、多くの住宅が流され貴重な観光資源が破壊されたりして甚大な被害が出ました。そこで東京海上グループでは何かお役に立てることはないかと考えて、紀南復興支援活動というものを1月28日(土)から29日(日)にかけて行いました。これは地元被災地へのボランティア活動やイベントへの参加（ゴルフ、観光、釣り）、地元特産品の購入を通じて資金還元するという経済貢献を目的としています。社員だけでなく、和歌山で働いたことのあるOBや代理店さんも参加して総勢129名で活動を行い、総額2,576,900円の経済貢献をすることができました。

